

2024年度 授業シラバス

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。							
【到達目標】 オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。オンデマンド授業は必ず対面授業の前に受講してください。学習目標を到達するためには、オンデマンド授業、対面授業両方を受講することが必須となります。							
【教員の略歴】 英会話講師(留学事前研修指導、コミュニケーション、英検、Toeic、Toefl 等)小学校から大学まで幅広い教育現場で講師を務める。 Toeic 950、英検1級、公認心理師取得。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	be 動詞(am, are)を使って自己紹介(国籍や出身)する、または出身地を尋ねる会話を練習する 疑問代名詞(What)を使って、自分の個人情報を相手に伝え、また相手の情報を聞く			①	「現在進行形」肯定文を使って、家事や自宅での行動について話す 「現在進行形」疑問文を使って、旅行について質問する、または答える		
②	ホテルにチェックインする際の会話を練習する 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く			②	電話で情報を共有する会話を練習する 今起っていることについてのブログを読む、書く		
③	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「パーティで新しい人に出会う」・前期発表 と運動する内容 be動詞を使って、家族構成について話す			③	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「最近の生活について」・後期発表と運動 する内容 [Can / Can' t](能力)を使って、自分の能力や才能について話す		
④	be動詞の否定文を使って、友達や家族について説明する 年齢や誕生日について聞く、話す			④	[Can / Can' t](可能性)を使って、職場や学校でできること、できないことについて話す 自分が何故その仕事の適任者なのか、説明するための表現を練習する		
⑤	写真に写っている友達のことについて話す友達についての紹介文を書く Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「友達や家族についての情報を比較する」・前期発表と運動する内容			⑤	インターネット上で自分の考えをコメントする Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自国民が何が得意かについて」・後期発 表と運動する内容		
⑥	名詞の所有を表す[s] と[s']を使って、自分の家について話す [it is]を使って、家具について話す			⑥	[this] と [these]を使って、休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to]を使って、旅行計画を立てる		
⑦	飲み物やお菓子を提供する、受け取る際の会話を練習する。分からない単語について質問する ホームシェアについてのEメールのやり取りを読む、または、そのEメールを書く			⑦	お店でいろいろな情報を聞く時の表現を使って、会話を 場所についての説明を読む、書く		
⑧	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「新居の家具を選ぶ」・前期発表と運動する内容 一般動詞「現在形」を使って、お気に入りの物について話す			⑧	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「休暇の計画をたてる」・後期発表と運動 する内容 [be going to]を使って、週末のアウトドア(野外)プランについて話す		
⑨	コミュニケーション手段について話す相手の話を聞いていることを示す コミュニケーション手段について話す相手の話を聞いていることを示す			⑨	[be going to](疑問文)を使って、異なる様々な旅で何を着るかにについて話し合う [be going to](疑問文)を使って、異なる様々な旅で何を着るかにについて話し合う		
⑩	商品のレビューを読む、書く<Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション 「好きな音楽について」・前期発表と運動する内容			⑩	オンラインでの招待状を読む、書く Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町での楽しい週末を計画する」・ 後期発表と運動する内容		
⑪	「現在形」肯定文、否定文を使って、平日、週末の行動について話す 「現在形」疑問文を使って、時間・自分のルーティン(日課)について話す			⑪	be動詞の過去形[was / were]の肯定文と否定文を使って、過去における人物、場所、物について話す be動詞の過去形[was / were]の疑問文を使って、 記憶にある色について話す		
⑫	相手の意見に賛成したり、相手と共通していることを伝える表現を練習する 自分の行動についてのレポートを読む、書く			⑫	自分の記憶を表現し、映画、俳優について話す 過去の思い出として保管している物についてEメールを書く		
⑬	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「異なる週の活動について比較する」・前 期発表と運動する内容 [There (is, are), (a lot, some, no)]を使って、町にある場所について話す			⑬	Time to Speak:・スピーキング:ロールプレイ・プレゼンテーション「子どもの頃から見ているTV番組につい て」・後期発表と運動する内容 一般動詞の「過去形」を使って、間食や軽食について話す		
⑭	「可算名詞・不可算名詞」を使って、住んでいる地域の自然について話す 道順を聞く、または教える会話を練習する			⑭	一般動詞の「過去形」の疑問文を使って、レストランの食事について話す 食べ物・飲み物を提供する、お願いする、また答える時の会話を練習する		
⑮	自然の中の場所についてのファクトシートについて読む、書く Time to Speak: 前期発表			⑮	レストランのレビューを読む、書く Time to Speak: 後期発表		
準備学習 時間外学習	オンデマンドの配信授業もあります。			評価方法	授業態度、出席率、レポート、筆記テスト等		
受講生へのメ ッセージ	英語が苦手な人も、好きな人も一緒に楽しみましょう。 Let's enjoy speaking in English.			使用教科書 教材 参考書	EVOLVE		

2024年度 授業シラバス

科目名	コンピューター	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。 各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。							
【到達目標】 実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。							
【教員の略歴】 Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけではなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けています。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業ガイダンス・環境確認		①	Excel第1章 Excelの基本操作	
②	Word第1章 Wordの基本操作、		②	Excel2章 数式の作成	
③	Word第2章 文章の編集		③	Excel第3章 表の編集	
④	Word第3章 表現力のある文書作成		④	Excel第4章 グラフの作成	
⑤	Word第4章 図形的应用		⑤	Excel第5・6章 印刷・ワークシートの操作	
⑥	Word第5章 表の作成		⑥	Excel第7章 いろいろな関数	
⑦	Word第6章 Wordの便利な機能		⑦	Excel第8・9章 Excelの便利な機能	
⑧	Word第7章 SmartArtグラフィック		⑧	Excel第10章 Excelの活用・復習課題	
⑨	Word総復習課題		⑨	後期試験準備のための模擬試験	
⑩	前期試験準備のための模擬試験		⑩	後期試験準備のための模擬試験	
⑪	前期試験 (Word)	前期試験	⑪	後期試験	後期試験
⑫	試験振り返り		⑫	試験振り返り	
⑬	Word第8章 表の応用		⑬	Excel第11章 Excelの活用・復習課題	
⑭	Word第9章 文書をサポートする機能		⑭	Word・Excel総復習課題	
⑮	Word第10章 文書をサポートする機能 応用		⑮	Word・Excel総復習・まとめ	
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。		評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。	
受講生へのメ ッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。		使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携	

2024年度 授業シラバス

科目名	ビジネスマナー	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。 ・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。							
【到達目標】 企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。							
【教員の略歴】 企業内研修(入社基本研修～マナー、サービスマインド、ホスピタリティ、営業研修等)その後キャリアコンサルタントとして企業内キャリアカウンセリング約100社程担当。キャリアコンサル タント養成講座実技指導講師							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ガイダンス・コミュニケーションとは? 挨拶・おじぎ		①	4章 社会的スキルⅡ、Ⅲ	
②	2章 基本スタイルⅠ 1～3		②	4章 社会的スキルⅡ 3～4	
③	2章 基本スタイルⅠ 4～6		③	4章 社会的スキルⅡ 6～7	
④	2章 基本スタイルⅡ		④	4章 社会的スキルⅢ1～2	
⑤	3章 自己表現スキルⅠ 1～3		⑤	4章 社会的スキルⅢ 3～5	
⑥	3章 自己表現スキルⅠ 4～6		⑥	サービスマインドⅠ 1	
⑦	3章 自己表現スキルⅡ 1～3		⑦	サービスマインドⅠ 2～3	
⑧	3章 自己表現スキルⅡ 4～6		⑧	サービスマインドⅡ 1	
⑨	3章 自己表現スキルⅢ 1～2		⑨	サービスマインドⅡ2～3	
⑩	3章 自己表現スキルⅢ 3～4		⑩	プレゼンテーション 自己アピール	
⑪	復習 模擬テスト	前期試験	⑪	検定 過去問題対策	後期試験
⑫	プレゼンテーション 自己アピール		⑫	直前 検定問題対策	
⑬	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑬	直前 検定問題対策	
⑭	4章 社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑭	コミュニケーションスキルアップ検定	
⑮	前期・総復習		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。		評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。	
受講生へのメッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。		使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定	

2024年度 授業シラバス

科目名	放送業界基礎知識	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 この業界での基礎知識を学び、実際に役者が演技をしている生の舞台で音響・照明の操作を実践する							
【到達目標】 演者さんを身近に感じてスタッフの芝居へのアプローチや芝居感を身に付け、合わせて業界で働く上での基礎知識の習得を目的とする。							
【教員の略歴】 芸能プロダクションに所属、俳優、お笑い、ラジオDJなどマルチに活動							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション		①	カメラアングルについて基礎①	
②	進路ミュージカルとは		②	カメラアングルについて基礎②	
③	ミュージカル鑑賞		③	照明操作基礎①	
④	テレビ収録について検討する①		④	照明操作基礎②	
⑤	テレビ収録について検討する②		⑤	制作基礎①	
⑥	舞台について検討する①		⑥	制作基礎②	
⑦	舞台について検討する②		⑦	音響基礎①	
⑧	グループ分け		⑧	音響基礎②	
⑨	企画を考えてみる①		⑨	音声基礎①	
⑩	企画を考えてみる②		⑩	音声基礎②	
⑪	企画の選定		⑪	進路ミュージカル リハーサル①	
⑫	企画ブラッシュアップ①		⑫	進路ミュージカル 本番日/収録	
⑬	企画ブラッシュアップ②		⑬	進路ミュージカル 編集	
⑭	前期復習		⑭	作品提出/合評	後期試験
⑮	後期に向けての予習	前期試験	⑮	反省会	
準備学習 時間外学習	TVや舞台などを積極的に観て学んでください。		評価方法	試験・出席率・授業態度・課題	
受講生へのメ ッセージ	最終的にはミュージカル制作し、ものづくりの楽しさを感じながら業界に必要な知識を身につけましょう。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	演技・演出	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 基礎表現から舞台での表現まで、毎回実習あるのみ！							
【到達目標】 舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる							
【教員の略歴】 1993年～舞台を中心に活動を始め、現在も俳優・脚本・演出などをこなす。2002年より指導者としても活動、今では講演会を含め日本全国を回る。他に、大物俳優の付き人、NSC17期生などの経歴。株式会社bamd's company代表取締役社長・劇団ザ・ドクターイエロー代表							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	発想力を養う連想ゲーム			①	ドラマのワンシーンに挑戦(本読み・立ち稽古)		
②	基礎表現 1「あ」からはじまる基礎表現			②	ドラマのワンシーンに挑戦(台本を持たないで)		
③	基礎表現 2「あ」から言葉にかえて基礎表現			③	ドラマのワンシーンに挑戦(撮影)		
④	「届かなかったラブレター」を読んでみる			④	グループでドラマのワンシーンに挑戦(本読み・立ち稽古)		
⑤	「届かなかったラブレター」を表現してみる			⑤	グループでドラマのワンシーンに挑戦(台本を持たないで)		
⑥	学園祭で発表！！「届かなかったラブレター」			⑥	グループでドラマのワンシーンに挑戦(動きを入れて)		
⑦	シチュエーション表現 1 キャラクターの表現			⑦	グループでドラマのワンシーンに挑戦(撮影)		
⑧	シチュエーション表現 2 場所の表現			⑧	グループでドラマのワンシーンに挑戦(動画のチェック)		
⑨	シチュエーション表現 3 グループに分かれて表現			⑨	チームで演劇制作・チーム分けとテーマの決定		
⑩	簡単なワンシーンを表現してみる 1 台本を持ちながら		前期試験	⑩	チームで演劇制作・台本制作1		
⑪	簡単なワンシーンを表現してみる 2 台本を持たないで			⑪	チームで演劇制作・台本制作2		後期試験
⑫	BGMをつけて本格的にワンシーンを演じてみる			⑫	チームで演劇制作・台本制作3		
⑬	ワンシーンの長ゼリフをひとりで行ってみよう			⑬	チームで演劇制作・稽古		
⑭	本格的なワンシーンを表現してみる(台本を持ちながら)			⑭	チームで演劇制作・稽古		
⑮	本格的なワンシーンを表現してみる(台本を持たないで)			⑮	チームで演劇制作・本番！！		
準備学習 時間外学習	当たり前に台本を丸ごと覚える			評価方法	試験 出席率・授業態度を評価(技術はその次。実際の業界も同じなので)		
受講生へのメッセージ	俳優にとって一番大切な礼儀・マナーをしっかりと心掛けてほしいです			使用教科書 教材 参考書	特になし		

2024年度 授業シラバス

科目名	演劇・映像史	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
少人数のチームによる映像作品の制作をベースに授業を進めます。 企画、撮影、編集、上映に至る映像制作の工程を通して、映像の原理と制作の基礎を学びます。							
【到達目標】							
企画、撮影、編集、上映に至る制作の基礎を習得し、映像作品を作る力を身につけることを目標とします。							
【教員の略歴】							
映像事務所 代表 映像制作会社を経て、映像事務所を設立。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション		①	演習Bプリプロダクション/何をつくるか想像する	
②	授業の概要説明とチームづくり		②	演習Bプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする①	
③	映像制作基礎		③	演習Bプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする②	
④	ワークフローの解説と編集について		④	演習Bプロダクション/実際につくってみる①	
⑤	演習Aプリプロダクション/何をつくるか想像する		⑤	演習Bプロダクション/実際につくってみる②	
⑥	演習Aプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする		⑥	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる①	
⑦	演習Aプロダクション/実際につくってみる		⑦	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる②	
⑧	演習Aプロダクション/さらに工夫してつくってみる		⑧	演習Bポストプロダクション/編集をして全体を見てみる①	
⑨	演習Aポストプロダクション/編集をして全体を見てみる		⑨	演習Bポストプロダクション/編集をして全体を見てみる②	
⑩	演習Aポストプロダクション/感想をあつめて編集に反映させる	前期試験	⑩	演習Bポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする	
⑪	演習Aポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする		⑪	演習B合評/完成した作品の上映と合評を行う	後期試験
⑫	演習A合評/完成した作品の上映と合評を行う		⑫	プリプロダクション演習/企画	
⑬	プリプロダクション演習/企画		⑬	プリプロダクション演習/シナリオ・絵コンテ	
⑭	プリプロダクション演習/シナリオ・絵コンテ		⑭	ポストプロダクション演習/タイトル・カラーグレーディング	
⑮	ポストプロダクション演習/タイトル・カラーグレーディング		⑮	作品研究	
準備学習 時間外学習	たくさん映像を観てください。		評価方法	試験・出席率・授業態度	
受講生への メッセージ	映像制作について学んでいきましょう		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	番組・イベント企画	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 1 5分番組企画の作成及びプレゼンを行い、企画に基づきVTR収録にて番組制作を行う。 後期は、進級制作の準備及び作業チェックを行う。							
【到達目標】 番組企画力および番組での演出方法をTV番組制作とともに学ぶ。テレビ番組の企画書の作成とそれに伴うプレゼン方法、演出方法及び予算管理のノウハウを身につける。							
【教員の略歴】 制作プロダクションにて、放送局にて、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	テレビ番組とは①		①	15分番組完パケ作業	
②	番組の予算について		②	15分番組完パケ作業	
③	番組編成について		③	15分番組プレビュー	
④	営業について		④	進級制作の準備 企画作成	
⑤	15分番組企画作成		⑤	進級制作の準備 予算書作成	
⑥	15分番組企画作成		⑥	進級制作の準備 班分け	
⑦	予算書作成		⑦	進級制作の準備 台本作成	
⑧	班分け		⑧	進級制作の準備 番組ロケ	
⑨	台本作成		⑨	進級制作の準備 スタジオ収録	
⑩	番組ロケ		⑩	進級制作の準備 (編集、MA作業) ①	
⑪	番組制作期間 (編集、MA作業)		⑪	進級制作の準備 (編集、MA作業) ②	後期試験
⑫	番組制作期間 (編集、MA作業)		⑫	進級制作 リハーサル	
⑬	スタジオ収録 リハーサル		⑬	進級制作 本番	
⑭	スタジオ収録 本番	前期試験	⑭	進級制作 反省会	
⑮	反省会		⑮	総まとめ	
準備学習 時間外学習	たくさんテレビを観てください。		評価方法	試験、出席率と授業への取り組み方及び、企画の独創性、発想力 プレゼンの態度、企画書の仕上がり度。	
受講生への メッセージ	一つ上のクオリティを実現させよう！		使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、再生用PC	

2024年度 授業シラバス

科目名	コンピュータ・デザイン	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 日常で目にするデザイン制作物がどのような工程で作られているのかを理解し、グラフィックデザインソフトウェアである「illustrator」と「Photoshop」の操作を基礎から現場で必要な応用までの技術を学ぶ。							
【到達目標】 「illustrator」と「Photoshop」の基本操作を習得する。							
【教員の略歴】 現在フリーランスのデザイナーのしても活動。グラフィックデザイン、アパレル、WEBなど多岐にわたる。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	illustrator / 基本操作①		①	Photoshop / 応用操作①	
②	illustrator / 基本操作②		②	Photoshop / 応用操作②	
③	illustrator / 基本操作③		③	Photoshop / 応用操作③	
④	illustrator / ペンツールの基本操作		④	illustrator + Photoshop / 連携方法	
⑤	illustrator / ペンツールの応用		⑤	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン①	
⑥	illustrator / オブジェクト操作応用①		⑥	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン②	
⑦	illustrator / オブジェクト操作応用②		⑦	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン③	
⑧	illustrator / フライヤー制作①		⑧	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン④	
⑨	illustrator / フライヤー制作②		⑨	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン⑤	
⑩	illustrator のまとめテスト	前期試験	⑩	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン⑥	
⑪	LINEスタンプをデザインする①		⑪	フライヤー制作テスト前半	後期試験
⑫	LINEスタンプをデザインする②		⑫	フライヤー制作テスト後半	
⑬	LINEスタンプをデザインする③		⑬	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン⑦	
⑭	Photoshop / 基本操作①		⑭	illustrator + Photoshopでのフライヤーデザイン⑧	
⑮	Photoshop / 基本操作②		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	日常生活する中で目にするデザインされたものを意識して見る。「わかりやすいデザイン」「わかりにくいデザイン」を自分なりに考えてみる習慣を作る。		評価方法	基礎評価(出席率 + 授業態度) + 能力評価(課題 + 試験)で評価します。	
受講生への メッセージ	グラフィックデザインソフトを操作できるという能力はとても大きな武器になると信じています。現場で必要な技術をしっかり学んでいきましょう。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	カメラワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 プリプロダクションにおける、撮影と照明は密接な関係にあり、基礎的な機材の使用方法を学び撮影行為を通して撮影・照明の機材とその手法を学ぶ							
【到達目標】 映画ドラマにおける、基礎的な撮影機材・照明機材の名称及び操作技術の取得また、撮影・照明の手法を実践を通して習得する事ができ、名称はもちろんその手法を実践できる様になる。(また業界に出た際のメインスタッフと助手の違いを認識し、その動きを学ぶ)							
【教員の略歴】 撮影スタッフとして映画・CM・VPなど様々な分野で活躍。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	オリエンテーション 当科目での到達目標と実施概要 機材申請シフトの確定と機材概要説明			①	【各班準備】 機材確認/特殊撮影機材及び照明機材確認		
②	撮影部/照明部ⅠA 各種機材及び周辺機器名称と取扱説明 目標/機材名称がわかる様になる			②	A班/撮影・照明演習 準備及び出演		
③	撮影部/照明部ⅠB 各種機材及び周辺機器名称を取扱説明 目標/機材名称がわかる様になる			③	B班/撮影・照明演習 準備及び出演		
④	撮影部/照明部ⅡA 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材名称がわかり、選別できる様になる。			④	C班/撮影・照明演習 準備及び出演		
⑤	撮影部/照明部ⅡB 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材名称がわかり、選別できる様になる。			⑤	D班/撮影・照明演習 準備及び出演		
⑥	撮影部/照明部ⅢA 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材を自身で組立てれる様になる			⑥	E班/撮影・照明演習 準備及び出演		
⑦	撮影部/照明部ⅢB 各種機材及び周辺機器名称の復習 目標/機材を自身で組立てれる様になる			⑦	全チームオフラインラッシュ 反省会と改善点		
⑧	撮影部/レンズの違いによる画角の違いとレンズの扱いについて 照明部/三点照明技法を徹底マスター			⑧	特機技術Ⅰ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について		
⑨	撮影部/レンズの違いによる画角の違いとレンズの扱いについて 照明部/三点照明技法を徹底マスター			⑨	特機技術Ⅱ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について		
⑩	撮影/照明演習① 蛍光灯下での撮影/照明表現技法			⑩	特機技術Ⅲ ミニジブクレーン/レールドリーの使用方法について		
⑪	撮影/照明演習② 教室内での夕景表現・撮影/照明表現技法		前期試験	⑪	進級制作作品 スケジュール&シーン確認 準備物及び撮影/照明技法アドバイス		
⑫	【試験演習】 班に分かれてのワンシーン撮影実習 3班集体にて実施			⑫	進級制作作品 スケジュール&シーン確認 準備物及び撮影/照明技法アドバイス		
⑬	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出			⑬	進級制作作品/ラッシュレビュー 改善点及び、アドバイスの実施		
⑭	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出			⑭	【試験演習】 班に分かれてのワンシーン撮影実習 3班集体にて実施		後期試験
⑮	長期休暇明け・総復習 撮影/照明機材名称及び扱い方 後期オリエンテーション及び課題提出			⑮	年間総まとめ		
準備学習 時間外学習	前期については、撮影部/照明部に分かれて機材名称及び扱いを学ぶ事とする。 機材貸出については、持ち回り制をとりいれ、授業開始までに準備を実施			評価方法	【評価方法】実技試験及び、授業拝聴姿勢を評価とする。 【評価基準】撮影・照明における基礎技術習得が出来ているかを評価基準とする。		
受講生へのメッセージ	映画・ドラマは総合芸術です。 他人事にならず、志望に関係なく技術を身につけましょう!!			使用教科書 教材 参考書	機材室及び、テレビスタジオ内の撮影機材・照明機材を使用		

2024年度 授業シラバス

科目名	スタジオワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 音響システムを構築する上での基本を学ぶ							
【到達目標】 機材の操作やシステム構築を理解する。							
【教員の略歴】 数々の舞台音響、ダンスイベントや音楽イベントなど、関西中心に活躍中。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	マイクケーブルの仕組み		①	ワイヤレスマイク1	
②	スピーカーケーブルの仕組み		②	ワイヤレスマイク2	
③	座学: スタンドスピーカー		③	エフェクター1	
④	音響システム1		④	エフェクター2	
⑤	音響システム2		⑤	XLVCシステム1	
⑥	小テスト		⑥	XLVCシステム2	
⑦	マイクروفオン1		⑦	小テスト	
⑧	マイクروفオン2		⑧	進路ミュージカルシステム1	
⑨	マルチケーブルシステム		⑨	進路ミュージカルシステム2	
⑩	アナログミキサー1		⑩	進路ミュージカルシステム3	
⑪	アナログミキサー2		⑪	システムチューニング1	
⑫	アナログミキサー3		⑫	システムチューニング2	
⑬	音響システム構築		⑬	後期試験	
⑭	前期試験		⑭	WE ARE対策1	
⑮	前期おさらい		⑮	WE ARE対策2	
準備学習 時間外学習	特になし		評価方法	出席、授業態度、テスト	
受講生へのメ ッセージ	音響機材はむづかしいけど面白い！！ 機材を構築することや操作を楽しみながらお覚えましょう		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 舞台美術、空間演出の発想をどのようにデザインしていくか、人に伝わるデザインにしていけるかを考えていきます。photoshop/illustratorを一つの画材として扱っていけるように使うことを学んでいきます。							
【到達目標】 舞台美術について考え、PCを使って具現化する。							
【教員の略歴】 現在、フリーランスの舞台画家、大道具。関西中心に舞台の仕事に携わっている。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	前期授業について/illustratorを使ってみる(1)		①	後期授業について/舞台美術画を描く(1)	
②	illustratorを使ってみる(2)		②	舞台美術画を描く(2)	
③	illustratorでパースを描く(1)		③	舞台美術画を描く(3)	
④	illustratorでパースを描く(2)		④	舞台美術画を描く(4)	
⑤	illustratorで絵を描いてみる(1)		⑤	舞台美術プラン(1)脚本をもとにプランをつくる	
⑥	photoshopを使ってみる(1)		⑥	舞台美術プラン(2)	
⑦	photoshopを使ってみる(2)		⑦	舞台美術プラン(3)	
⑧	photoshopを使ってみる(3)		⑧	舞台美術プラン(4)	
⑨	illustrator/photoshopを使って空間デザインする(1)		⑨	舞台美術プランⅡ(1)人に伝えるデザインを考える	
⑩	illustrator/photoshopを使って空間デザインする(2)		⑩	舞台美術プランⅡ(2)	
⑪	illustrator/photoshopを使って空間デザインする(3)		⑪	舞台美術プランⅡ(3)	
⑫	illustrator/photoshopを使って舞台デザインする(1)		⑫	舞台美術プランⅡ(4)	後期試験
⑬	illustrator/photoshopを使って舞台デザインする(2)	前期試験	⑬	舞台美術プランⅡ(5)	
⑭	illustrator/photoshopを使って舞台デザインする(3)		⑭	舞台美術考(1)	
⑮	illustrator/photoshopを使って舞台デザインする(4)		⑮	舞台美術考(2)/まとめ	
準備学習 時間外学習	photoshop/illustratorを使用しての授業になります。PCの基本スキルは理解しておいてください。学校では上記のアプリケーションを使いますが、別のアプリでも構いませんので使うと、理解も深まります。		評価方法	試験・出席率、課題提出	
受講生へのメッセージ	PCで完結するのではなく、1つの画具として扱うつもりです。下絵は、スケッチして取り込んでという使い方をしてみたいと思っています。いろいろやってみましょう		使用教科書 教材 参考書	筆記具、スケッチブック(プランを考えたり、メモしたりするものです。好みのサイズで構いません)、USBメモリー(データ保管用です。必須)	

2024年度 授業シラバス

科目名	ライティング	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 前半では安全や舞台・照明の基礎を座学を中心に勉強し、後半ではより実践的に体を動かす事を基本とした授業をしていきます。							
【到達目標】 照明の基礎理論、実践を学び、照明人としての考え方を習得する。							
【教員の略歴】 音響技術者として活躍したのち、照明技術者として市民会館常駐・全国ホール・アリーナ・イベント会場・ライブハウスなどでオペレーションを行っている。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	舞台用語基礎～市民会館・ホールのお仕事		①	ホスピタルオブミラクルを終えて。	
②	仕事の種類 ～ 就職対策		②	シーンの作り方①	
③	照明の仕組み ～ 器具の説明		③	シーンの作り方②	
④	安全対策		④	シーンの作り方③	
⑤	明かりの種類と組み合わせ		⑤	音楽の照明プラン①	
⑥	明かりの変化～ピンスポット基礎		⑥	音楽の照明プラン②	
⑦	シュートの基礎		⑦	芝居の照明プラン①	
⑧	回路取り ～ 仕込み ～ シュート		⑧	芝居の照明プラン②	
⑨	音楽の照明を考える		⑨	芝居の照明プラン③	
⑩	調光卓の操作 基礎	前期試験	⑩	芝居の照明プラン④	
⑪	明かり作りの基礎 ①		⑪	後期試験	後期試験
⑫	ホスピタルオブミラクルに向けて①		⑫	進級公演に向けて①	
⑬	ホスピタルオブミラクルに向けて②		⑬	進級公演に向けて②	
⑭	ホスピタルオブミラクルに向けて③		⑭	進級公演に向けて③	
⑮	ホスピタルオブミラクルに向けて④		⑮	進級公演を終えて。	
準備学習 時間外学習	たくさん芝居に触れましょう。		評価方法	試験・出席率	
受講生へのメ ッセージ	裏方の本懐を楽しく学んでいただきます。 最初は座学なので、専用のノートを用意して教室へいらして下さい。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	映像編集	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 カメラの基本的な操作方法、撮影における基礎知識の習得を目的とした、実技をメインとしたクラス。							
【到達目標】 制作者として技術スタッフとのコミュニケーションにおいて必要な基礎知識を身につけるとともに、基本的な撮影技術の習得。							
【教員の略歴】 現在、朝日放送テレビで主に情報、報道、ドキュメンタリー番組のENGカメラマンとして日々、撮影業務にたずさわっています。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ENG基礎理論Ⅰ		①	応用実技Ⅰ	
②	ENG基礎理論Ⅰ		②	応用実技 クリエイションⅠ	
③	ENG基礎実技Ⅰ		③	応用実技 クリエイションⅠ	
④	ENG基礎実技Ⅰ		④	応用実技 クリエイションⅡ	
⑤	ENGカメラにおける音声 基礎理論Ⅰ		⑤	応用実技 クリエイションⅡ	
⑥	ENGカメラにおける音声 基礎理論Ⅱ		⑥	応用実技 クリエイションⅢ	
⑦	ENGカメラにおける音声 基礎実技Ⅰ		⑦	応用実技 クリエイションⅢ	
⑧	ENGカメラにおける音声 基礎実技Ⅱ		⑧	応用実技 クリエイションⅣ	
⑨	ENGカメラにおける照明 基礎理論Ⅲ		⑨	応用実技 クリエイションⅣ	
⑩	ENGカメラにおける照明 基礎理論Ⅳ		⑩	応用実技 クリエイションⅤ	
⑪	ENGカメラにおける照明 基礎実技Ⅲ		⑪	応用実技 クリエイションⅤ	
⑫	ENGカメラにおける照明 基礎実技Ⅳ		⑫	振り返りとまとめ	
⑬	ENGカメラにおける照明 基礎実技Ⅴ		⑬	振り返りとまとめ	
⑭	前期試験	前期試験	⑭	後期試験	後期試験
⑮	応用実技Ⅰ		⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	TV、映画、MV、ライブ映像、YOUTUBE、さまざまな映像をみて研究してください。		評価方法	積極性、出席率、テストでの評価	
受講生へのメッセージ	ENG撮影の基礎的な知識と技術は制作スタッフにとっても大切な要素になります。楽しみながら身につけていきましょう。		使用教科書 教材 参考書	主にPMW320K、PMWEX1ーR、PXWーZ280などのカメラ。ENGロケに必要な照明や音声機材。	

2024年度 授業シラバス

科目名	音声技術	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
D T Mソフトを使用して、ジングル/フラッシュ制作を実施。							
【到達目標】							
T V ・ラジオ番組に必要な、D T M知識と技術を学び放送用の番組にも使用できる作品を制作する。							
【教員の略歴】							
現在、FM局にて様々な番組を担当 ディレクター							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、番組概要説明 など		①	模擬番組に必要な素材制作を随時	
②	NA 編集など		②	模擬番組に必要な素材制作を随時	
③	完パケ、音声の加工/演出技術など		③	模擬番組に必要な素材制作を随時	
④	JINGLE / SPOT 作成		④	個人作品発表会	
⑤	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑤	模擬番組に必要な素材制作を随時	
⑥	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑥	模擬番組に必要な素材制作を随時	
⑦	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑦	模擬番組に必要な素材制作を随時	
⑧	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑧	個人作品発表会	
⑨	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑨	模擬番組に必要な素材制作を随時	
⑩	個人作品発表会	前期試験	⑩	模擬番組に必要な素材制作を随時	
⑪	模擬番組企画		⑪	模擬番組に必要な素材制作を随時	後期試験
⑫	模擬番組に必要な素材制作を随時		⑫	個人作品発表会	
⑬	模擬番組 リハーサル		⑬	模擬番組 リハーサル	
⑭	模擬番組 本番		⑭	模擬番組 本番	
⑮	模擬番組 反省会		⑮	模擬番組 反省会	
準備学習 時間外学習	特に指定はありませんが、必要に応じて行います。		評価方法	作品はもちろん、試験や出席日数や授業態度も評価します。	
受講生への メッセージ	編集の能力には センスと努力が直結します。 良いアイデアも形にする能力が低ければ意味がないので、 頑張ってください！		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	広告・宣伝	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
タレントプロデュースのシュミレーションを行いクラス内でプレゼンする							
【到達目標】							
タレントのマネジメント、現場での対応力や知識を身につける。 タレントとマネージャーとの関わり方を学ぶ							
【教員の略歴】							
東京の大手芸能事務所でマネージャーを現在のプロダクションにてマネージャーとなる。 現在、グループ全体のタレントマネジメントの統括以外に演劇プロデューサー、イベントプロデューサーなど様々なジャンルのプロデュースやマネジメントを手がける							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	タレントとマネージャーの関係		①	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議①	小テスト①
②	俳優プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト①	②	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議②	小テスト②
③	ミュージシャンプロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト②	③	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議③	小テスト③
④	お笑い芸人プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト③	④	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議④	小テスト④
⑤	モデルプロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト④	⑤	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑤	小テスト⑤
⑥	動画配信者プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑤	⑥	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑥	小テスト⑥
⑦	課外授業(劇団往来公演見学)		⑦	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑦	小テスト⑦
⑧	声優プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑥	⑧	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑧	小テスト⑧
⑨	地域密着タレントプロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑦	⑨	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑨	小テスト⑨
⑩	試験(個別&グループワーク)	前期試験	⑩	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑩	小テスト⑩
⑪	子役プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑧	⑪	試験(個別&グループワーク)	後期試験
⑫	アナウンサープロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑨	⑫	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑪	小テスト⑪
⑬	スポーツ選手プロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑩	⑬	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑫	小テスト⑫
⑭	アイドルプロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑪	⑭	タレントプロデュースオリジナルドラフト会議⑬	小テスト⑬
⑮	ダンサープロデュース(マンダラチャート使用)	小テスト⑫	⑮	社会人になるみなさんのために贈る言葉	
準備学習 時間外学習	とにかく世の中のことに興味を持ち、思いっきり遊ぶときは遊びましょ う！エンタメの世界は学生時代の遊びを活かせるかどうか？重要で す！		評価方法	①毎日の小テスト②出席率③期末テストの点数	
受講生へのメ ッセージ	みなさん頑張って出席しましょう！ ※出席しないと基本的に単位取れません		使用教科書 教材 参考書	PC(OFFICE,イラストレーター等)	

2024年度 授業シラバス

科目名	台本制作	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 シナリオ創作の基礎的な実習(実習はグループでの取り組みを予定しています)。							
【到達目標】 オリジナル台本を1年に数本完成させる。							
【教員の略歴】 長編映画を監督、劇場公開。のちに同事業の企画選考委員をつとめる。企業VPなどの制作歴多数。現在ドキュメンタリー映画を撮影中。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	オリエンテーション／脚本概論			①	演習：ストーリーラインの合評		
②	映画作品を見る			②	演習：ストーリーラインの構成を再考する①(箱書き)		
③	映画作品を見る(続き)／分析項目の概論			③	演習：ストーリーラインの構成を再考する②(箱書き)		
④	映画の分析①／実習：登場人物を創作する①			④	演習：ストーリーライン提出		
⑤	演習：登場人物像を創作する②			⑤	演習：シナリオの形式／映画の分析⑤		
⑥	映画の分析②／実習：状況設定を創作する①			⑥	演習：1シーンを創作する①		
⑦	実習：状況設定を創作する①			⑦	演習：1シーンを創作する②		
⑧	映画の分析③／実習：エンディングとオープニングを創作する①			⑧	演習：1シーンを演じ、撮影してみる①		
⑨	演習：エンディングとオープニングを創作する②			⑨	演習：1シーンを演じ、撮影してみる②		
⑩	映画の分析③／実習：プロットポイントを創作する①			⑩	演習：1シーンを演じ、撮影してみる③		
⑪	演習：プロットポイントを創作する②			⑪	テスト課題		後期試験
⑫	映画の分析④／実習：登場人物など各項目の再考			⑫	演習：シナリオを創作する①		
⑬	テスト課題			⑬	演習：シナリオを創作する②		
⑭	演習：ストーリーラインを創作する①		前期試験	⑭	演習：シナリオを創作する③(シナリオ完成)		
⑮	演習：ストーリーラインを創作する②→提出			⑮	演習：シナリオ合評		
準備学習 時間外学習	実習課題が授業内で提出できなかった場合は宿題になります。			評価方法	出席率・課題・授業態度・試験など		
受講生へのメッセージ	「おもしろい映画を撮るにはどうすればいい?」ということを、授業を通して考え話しあえる時間になればと思います。自分の考えやアイデアを話すことに恥ずかしがらず(徐々に慣れながら)参加してもらったほうが得るものは大きいと思っています。			使用教科書 教材 参考書	・筆記用具 ※授業内で参考図書など案内するかもしれませんが、必ずしも購入する必要はありません。		

2024年度 授業シラバス

科目名	マネジメントワーク	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 アーティストをゼロから育成し市場に送り出す、そのステップと必要知識を身につける							
【到達目標】 音楽に特化し、アーティストを育てるノウハウを学ぶ。プロデュース能力を身につける							
【教員の略歴】 1986-2009年SONY MUSIC ENTERTAINMENT エピックレコード プロデューサー。ドラマ「のだめカンタービレ」音楽監督。社会現象に。2010年より沖縄県にて音楽事務所設立。2010年、2014年配信チャート1位等。2010-2015年 日本テレビ放送網と番組プロデュース契約。2019年より大阪移住、新人育成中。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	マネジメントは何をするのか【マネジメント概論】		①	コンテンツ制作①	
②	業界構成図 1		②	コンテンツ制作②	
③	業界構成図 2 求められる人財（各社募集要項）		③	コンテンツプランニング	
④	自分は何を目指すのか		④	撮影①携帯	
⑤	マーケティング①（プランニング対象素材オリエン）		⑤	撮影②携帯	
⑥	マーケティング②（プロフィール/コンボジ）		⑥	編集アプリ①	
⑦	マーケティング③（チーム編成 プランニング）		⑦	編集作業	
⑧	マーケティング④（プランニング）		⑧	編集作業	
⑨	マーケティング⑤（資料作成）		⑨	動画プレゼン	
⑩	マーケティング⑥（資料作成/プレゼン準備）		⑩	ライブシミュレーション(プランニング セット図・セットリスト・照明プラン)	
⑪	チーム発表		⑪	ライブシミュレーション(プランニング)	
⑫	CMプロモーション(条件交渉)		⑫	ライブシミュレーション(動画撮影)	後期試験
⑬	写真撮影技術	前期試験	⑬	著作権講座	
⑭	映像撮影技術		⑭	アーティストディレクション(パフォーマンス)	
⑮	映像撮影(アーティスト)		⑮	アーティストディレクション(作品)	
準備学習 時間外学習	自分自身でコンテンツ(映像)を残せるように、携帯撮影、編集、SNS発信に積極的に触れていただきたい		評価方法	前期はアーティスト資料およびチームでマーケティングプランをプレゼンする役割分担と内容で評価。後期は映像作品内容で評価。	
受講生へのメッセージ	今年の授業は、「コンテンツ制作が出来るマネージャー」を目指します。ファンを惹きつける力があるアーティスト・俳優等々の才能と向き合えるクリエイティビティを身につけます。年間を通して制作した映像作品を入社試験に提出できるのが目的です。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2024年度 授業シラバス

科目名	就職対策講座	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 プロフェッショナルを意識し、思考力・行動力・協調性を学び、就職活動開始までの取り組みの中で自分自身を向き合う。履歴書記入の自己PRの基礎から大手企業で実際に行われている書類選考対策をし、業界大手への就職を目指すための準備をする。							
【到達目標】 業界に必要な基礎知識を学ぶと共に、学内における機材設備の扱い方などの学校で学ぶ事と業界での基礎知識を習得する。 また、就職活動における企業リサーチ法・志望動機・自己PRの書き方などの基礎を学び、SPIを通して職業観と自身にあった進路決定が出来る様になる。							
【教員の略歴】 テレビ番組の制作会社に就職。さまざまテレビ番組に携わる。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	エンターテインメント業界における「プロフェッショナルとは」思考力と行動力と協調性について			①	後期スケジュールの確認 授業単位と各成績・就職活動運動について		
②	産学連携教育と学校イベントに向けて。 あなたのPDCサイクル表の作成			②	履歴書フォーマット制作 学歴等の記入に関して		
③	学園祭ドリ☆フェスに向けた内容会議① エンタメ感あふれる屋台ネーム考案			③	GDから学ぶ、「企業側の視点」		
④	学園祭ドリ☆フェスに向けた内容会議② CM映像制作・店舗デザイン			④	簡単自己紹介20秒。面接練習その①		
⑤	学園祭ドリ☆フェスに向けた内容会議③ 制作期			⑤	質疑応答対策、問題100問。面接練習その①		
⑥	目標再設定。なぜ、この職業を選んだのか。			⑥	質疑応答対策、問題100問。面接練習その②		
⑦	自己PRの作り方講座①。～自己分析編 強みの発見～			⑦	性格診断・SPI対策テストの実施		
⑧	自己PRの作り方講座②。～文章力の向上～			⑧	就職活動アンケートを実施 勤務地・業務内容・担任へ相談したいこと等		
⑨	自己PRの作り方講座③。～掘り下げて、考える～			⑨	マイナビ・リクナビなど就職活動サイトを通して、 就職活動本格準備。		
⑩	他己紹介シート作成。～第一印象でプラス印象の与え方～			⑩	SPI性格診断振り返り。 2月3月就職活動スタートダッシュに向けての取り組み		
⑪	他己紹介シート作成。②		前期試験	⑪	大手就職対策① 「短所を400字で記入。」(テイクシステムズ)		後期試験
⑫	他己紹介シート作成。③			⑫	大手就職対策② 「A4自由形式の自己PR」(ヌーベルグループ)		
⑬	合同企業説明会に向けて① 企業リサーチとプロフィールシートの作成			⑬	WeareBAC制作展について・インターンと就職活動に関して		
⑭	合同企業説明会に向けて② 印象の残し方。※授業アンケートの実施			⑭	インターンと就職活動に関して		
⑮	合同企業説明会に向けて③ 質疑応答練習。			⑮	インターンと就職活動に関して		
準備学習 時間外学習	企業リサーチ 自己PRなど			評価方法	出席率評価及び、授業取り組み姿勢と、提出物による評価		
受講生へのメ ッセージ	就職活動でいいスタートが切れるように頑張りましょう。			使用教科書 教材 参考書	教科書・サクセスノート(教材配布分) 独自のパワーポイント		

2024年度 授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
映画・映像の企画を0から構想し、企画・演出・技術力を学ぶ。作品制作通じ、チームワークの重要性、個々のセルフプロデュースの構築を目指す。 「やりたい、なりたい」に真剣に、ガムシャラに向き合う事。							
【到達目標】							
自身の持つイメージを表現し、発想～調査～準備～表現～演出～技術などの点としっかり向き合い、個々・周囲の視野・目標を高める。							
【教員の略歴】							
数々の映画作品の助監督を務め、アシスタントプロデューサーなども担当。また映画表現のみならず、MVディレクションやアーティストとしても活動							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション / 今後について / 映画制作について		①	＜ショート映像制作②＞上映 / ＜進級制作＞始動	
②	映画制作について / デモ脚本会議実践		②	＜進級制作(～10分)＞ 企画プレゼン・チームスタッフ班分け	
③	セルフプロデュース / 企画の考案 ショート映像制作① (15秒)＞企画始動	＜	③	＜進級制作＞ 各部準備(シナリオ・ロケ案・美術、キャスト案など)	
④	＜ショート映像制作①＞ 構成・イメージコンテ作成		④	＜進級制作＞ 各部準備(シナリオ・ロケ申請、スケジュール作成)	
⑤	＜ショート映像制作①＞ 準備・撮影(スマホ・学内予定)		⑤	＜進級制作＞ 各部準備(衣装合せ・香盤表など)	
⑥	＜ショート映像制作①＞ 撮影(スマホ・学内予定)・編集		⑥	＜進級制作＞ 最終準備(リハーサル、カメラテストなど)	
⑦	＜ショート映像制作①＞ 上映 ＜ショート映像制作②(2分)＞企画始動		⑦	＜進級制作＞ 撮影週間①	
⑧	＜ショート映像制作②＞ 企画会議・スタッフ班分け ※スタッフ会議の仕方について		⑧	＜進級制作＞ 撮影週間②	
⑨	＜ショート映像制作②＞ 各部準備 (シナリオなど) ※ロケハン、キャスティングの仕方について説明		⑨	＜進級制作＞ ポスプロ週間① ラッシュ上映・撮影撤収	
⑩	＜ショート映像制作②＞ 各部準備(ロケ案・キャスト・美術案) ※ロケ申請、スケジュール作成の仕方について		⑩	＜進級制作＞ ポスプロ週間② 編集	
⑪	＜ショート映像制作②＞ 各部準備(香盤表作成、カメラテスト)		⑪	＜進級制作＞ ポスプロ週間③ 編集・SE作成	
⑫	＜ショート映像制作②＞ 撮影①		⑫	＜進級制作＞ ポスプロ週間④ 編集・MA・カラコレ	
⑬	＜ショート映像制作②＞ 撮影②		⑬	＜進級制作＞ ポスプロ週間⑤ 編集・MA・カラコレ・クレジット	
⑭	＜ショート映像制作②＞ 編集		⑭	＜進級制作＞ ポスプロ週間⑥ 編集仕上げ	
⑮	前期のまとめ / 後期について		⑮	＜進級制作＞ 作品上映・提出 / 総合まとめ口	
準備学習 時間外学習	映画・ドラマ鑑賞		評価方法	【評価方法】作品制作提出を基本とし、授業拝聴姿勢を評価とする。 【評価基準】提出作品における授業理解度を計る 【評価割合】出席率評価	
受講生へのメ ッセージ	前期はまず、思う事・やってみたい事・経験する事柄・物事に対して、一点一点、懸命に向き合ひましょう。そして、この先に目指す職業・役職において即戦力として活躍できるよう、授業を組みます。		使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映像や映画、各回に合わせた資料の提示	